外来および入院患者数の計算方法について

泌尿器科専門研修プログラム申請書 B(連携施設概要)のシート 2 では総入院患者(実数)および総外来患者(実数)を書く欄があります。基幹施設では申請書 A にあります。病院全体の年間入院患者数・外来患者数については、初期研修医を受け入れている病院では必ず臨床研修病院年次報告書(様式 8 の別紙 2)を提出していますので病院の事務にご確認ください。「年間入院患者実数」とは、当該年度の前々年度の繰越患者数に当該年度の前年度中における新入院患者数を加えた数、「年間総外来患者数(実数)」とは、当該年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数と定義されており、臨床研修病院であれば既にお持ちのデータですので、新たに算出する必要はないものです。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000081052.html>

これとは別に別紙 基幹および連携施設 診療実績ではそれぞれ施設毎に泌尿器科の 1 ヶ月あたりの外来患者数と手術件数を書く欄があります。ここには延べ数を記載してください。これを基にして施設群全体として年間の外来患者数を記載しますが、これは実際には専攻医の受入数の算出には関係ありませんのでそれほど重要でないデータとして考えていただければ結構です。

初期臨床研修医数について

施設毎の業績を書くところには初期臨床研修医数を記載する欄はないのですが別紙 施設群 診療実績には群全体での専門研修指導医数や専門医数、申請時における専攻医数に続いて群全体での申請時における初期臨床研修医数(定員と実数)を書く欄があります。これは機構が申請書のフォーマットを作成する途中のバージョンで求められていた項目なのですが最終的な申請書では初期臨床研修医数は求められていません。したがってこの欄の記載は不要ですのでご留意いただければ幸いです。